



高野竹工株式会社

2025年

商品カタログ

茶道具



受け継がれる素材と手仕事

高野竹工は、良質の竹の産地として知られる京都府長岡京市に工房を構え、竹を中心に自然素材でものづくりをしています。工房では竹工芸をはじめ指物、漆、蒔絵など様々な技を持つ職人が、茶道具から暮らしの道具に至るまで多彩な商品の製作に携わっています。長年、茶道具製作で培った感性と技術を次の世代へと引き継いでいます。



茶 道 具

これまで先代の高野宗陵、野々村淡完、堺宗元を中心に職人たちが半世紀かけて100万本以上の茶杓を作り続けてきました。毎年竹林から伐り出し、艶やかな白竹、実竹、シュミ竹等の景色の美しい茶杓の材料を大切に保管しています。

茶杓	4
茶杓筒／竹釘	5
花入	6
懐石箸	7
軸関連	8
色紙立て／扇子立て	9
銘々皿／楊枝	10
会社概要	11

※このカタログに掲載されている商品の価格は別紙表記となります。

※パッケージは予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。



白竹

胡麻竹

茶杓「並」

白竹
胡麻竹

弊社ではこれまで多くの茶杓を製作してきました。茶杓は「好み」や流派によって多種多様なものがあり、ひとつひとつ丁寧に製作しております。竹、木に蒔絵を施した茶杓も製作しております。



利休

即中斎

而妙斎

淡々斎

鵬雲斎

宗偏

茶杓「好み」

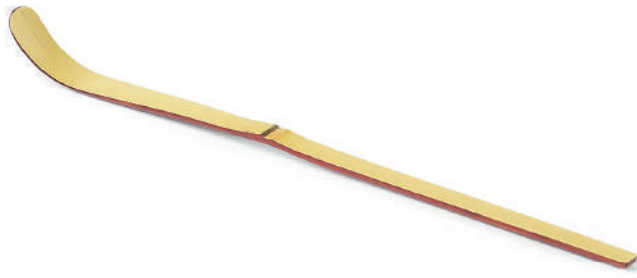
利休
即中斎
而妙斎
淡々斎
鵬雲斎
宗偏



歴代茶杓表千家流 布袋入



歴代茶杓裏千家流 布袋入



塗茶杓

溜塗り風 無地
松葉
つぼつぼ
松竹梅
いちょう



無地 松葉 つぼつぼ 松竹梅 いちょう

内側は竹の表皮を残し、外側には塗りの上に金で型摺りを施しています。

※生地の色により、最終的な仕上がりの濃淡が多少異なる場合がございます。



水屋茶杓



茶杓筒「中」

材／竹・杉(蓋)

木札 (杉)

36 × 24 × 4 mm



水屋釘

70 mm



軸釘

60 mm



花入

茶道具としてかかせない花入。
弊社の花入は油抜きと乾燥を丁寧に行い、
長時間寝かせた上質な竹を使用しています。
又、その他にも三つ節、五つ節など多数製
作しております。



つり舟花入

全長 360 ~ 540mm



一重切花入 一つ節



一重切花入 二つ節

一重切花入 一つ節

高さ 290mm

一重切花入 二つ節

高さ 290mm



灰吹 白竹

蓋置 白竹「並」



炉用



風炉用

灰吹 白竹

高さ 136mm

蓋置

高さ 56mm

白竹「並」「上」

・ 炉用

・ 風炉用

懐石箸

懐石料理にも使われる、格式高いお箸です。
全国の料亭や寺社仏閣などでご愛顧いただいております。



天節

8寸 (24.2cm)



中節

8寸 (24.2cm)



両細

8寸5分 (25.7cm)



軸巻き上げ 白竹

365 mm



三段ヤハズ 染竹 (布袋入り)

275 mm

※染竹の色味や色ムラは
商品によって異なります。



ゴマ竹自在 (金具付)

1.2 尺 (360 mm)

1.8 尺 (540 mm)

※節の位置、胡麻の模様は
商品によって異なります。



タペストリー吊り (染竹)

390 mm

※染竹の色味や色ムラは
商品によって異なります。

お部屋のインテリアに自然と馴染む
シンプルで使いやすい竹のタペスト
リー吊りです。



万能硯屏 ゴマ竹



菱硯屏 ゴマ竹

万能硯屏 (ゴマ竹)

幅 34 × 奥行 ~ 75mm
※色んなサイズで対応可能

菱硯屏 (ゴマ竹)

192 × 60 × 60mm
※ミニ色紙専用

寸松庵色紙用です。一般の色紙にはご利用いただけません。



色紙立ち上がり ゴマ竹



色紙立て掛け ゴマ竹

色紙立ち上がり (ゴマ竹)

300 × 70 × 40mm

色紙立て掛け (ゴマ竹)

440 × 190mm



扇子立 (ゴマ竹)

小 135 mm

中 180 mm

大 270 mm



色紙吊り (ゴマ竹)

282 mm



短冊吊り (ゴマ竹)

110 mm



無地

銘々皿 5枚組 (杉)

160 × 100 × 6 mm

無地

松葉

瓢

つぼつぼ

七宝

いちよう



松葉



瓢



つぼつぼ



七宝



いちよう



本煤竹楊枝 (節付き)

135mm

pp袋入り 1本

pp袋入り 5本組

箱入り 5本組

本煤竹楊枝 小

95mm

pp袋入り 5本



※煤竹は、色・文様に個体差がございます。予めご了承ください。

※先端が鋭角に仕上げてありますので、お取り扱いにはご注意ください。

煤竹とは？

煤竹（すすたけ）とは日本伝統的建造物である、茅葺き屋根の天井部分に用いられた竹が、囲炉裏の煙によって独特の艶のある茶褐色へ変化したものです。

百年、二百年という長い年月をかけてうまれる貴重な銘竹です。

会社概要

商号	高野竹工株式会社
創業者	高野 忠男
会社設立	昭和 48 年 11 月
資本金	4,000 万円
代表者	代表取締役 濱口 美由紀
従業員数	29 名（令和 7 年 8 月末現在）
事業内容	竹・木工芸品、華・茶道用品並びに、建築用資材の製造卸
所在地	本社：京都府長岡京市勝竜寺東落辺 14 番地の 15 Shop & Gallery 竹生園（ちくぶえん）：京都府長岡京市天神 2-15-15 丹波倉庫：京都府船井郡京丹波町富田松尾 52-4
加盟団体	京都商工会議所会員 長岡京市商工会会員 京都竹材商業協同組合 京都物産出品協会 他

会社沿革

昭和	16 年	高野竹工株式会社の前身「高野竹工芸店」を京都市中京区で開業。
”	48 年 11 月	高野竹工株式会社設立、本社を京都市右京区嵯峨野に設置。
”	54 年 9 月	京都府長岡京市に高野竹工長岡工場を開設。 敷地 760㎡ 工場 330㎡
”	63 年 11 月	京都文化博物館ろうじ店舗開設に参画。
平成	元年 7 月	長岡京市に第二工場を開設。敷地 210㎡ 工場 96㎡ 原竹加工場
”	9 年 8 月	資本金を 2,000 万円に増資。長岡工場を増改築、第二工場を長岡工場内に移転。
”	10 年 6 月	京都府船井郡京丹波町に倉庫を新設。敷地 818㎡ 倉庫 210㎡
”	16 年 2 月	会社設立 30 周年を機に長岡工場に新社屋を開設し、全機能を集結。
”	18 年 8 月	資本金を 4,000 万円に増資。
”	22 年 5 月	本社を長岡京市に移転。
”	26 年 10 月	京都祇園に直営小売店「篁（たかむら）」を開設。
”	29 年 4 月	京都の市街地（御幸町錦上ル）に直営小売店「ぼんてら」を開設。
令和	3 年 3 月	直営小売店「ぼんてら」閉店。
令和	3 年 10 月	長岡京市の長岡天満宮隣に「Shop & Gallery 竹生園」を開設。
令和	3 年 11 月	直営小売店「篁」閉店。

会社情報

Tel	075-955-2868
Fax	075-955-2876
Mail	info@takano-bamboo.jp
URL	https://www.takano-bamboo.jp
Instagram	@takanochikko



お問い合わせ



高野竹工株式会社

〒 617-0836

京都府長岡京市勝竜寺東落辺 14-15

Tel 075-955-2868 (本社代表)

Fax 075-955-2876 (本社代表)

www.takano-bamboo.jp

Instagram/FB @takanochikko @chikubuen

TAKANO CHIKKO Co.,Ltd

14-15,Higashiochibe,Syoryuji,

Nagaokakyo,Kyoto,Japan 617-0836

Email : info@takano-bamboo.jp